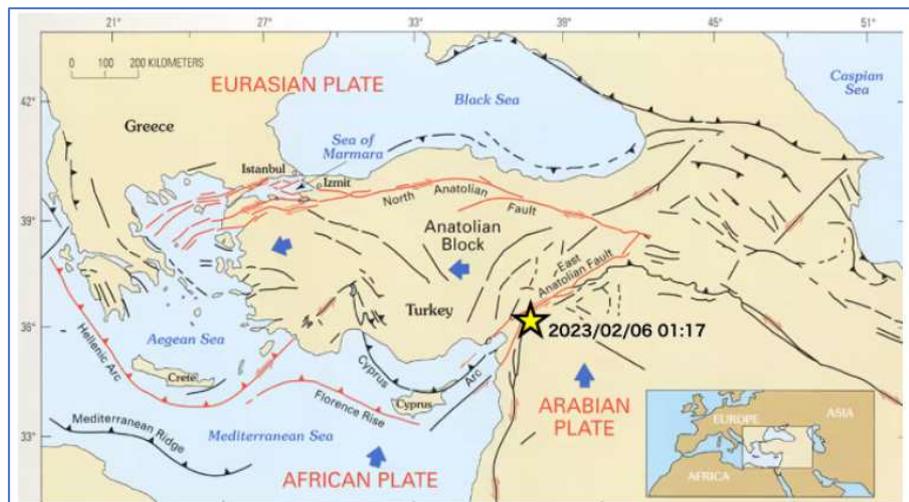


## 5. 解説：トルコ・シリア大地震と次なる日本の巨大地震リスク

2023年2月6日、トルコ・シリア大地震（M7.8）が発生し、5万人超の死亡者（2月下旬時点では、4万9千人確認）が見通されている。トルコ周辺は4つのプレートが複雑に入り組み、震源はプレート境界付近の断層にひずみがたまりやすい地域であった。

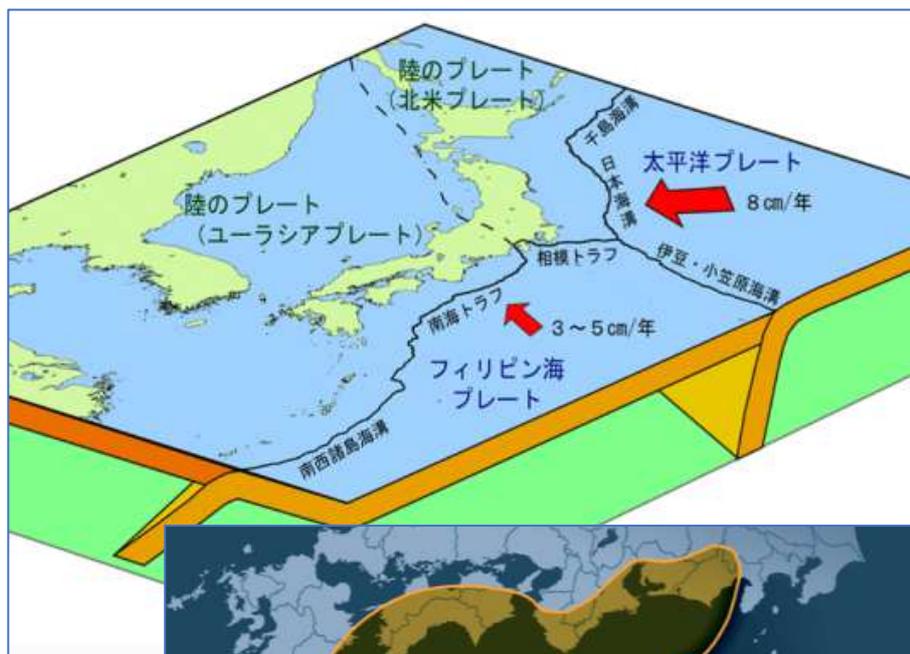
日本もプレートが重なり合う位置にある。阪神・淡路大震災をもたらした内陸・直下型の「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」(M7.3 1995年1月17日発生)、東日本大震災をもたらした海溝型の「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(M9.0 2011年3月11日発生)もプレートに起因する地震であった。

日本において、次に発生するM8クラスの大地震として予想されている「南海トラフに起因した巨大地震」のリスクが高まっている。建築物、交通施設、エネルギー施設等基幹施設のBCP（事業継続計画）、そして、国・地域としてのレジリエンス（適応力）が問われている。



トルコ南部で起きたM7.8の大地震の震源（中央の黄色い星印）。同国内の北部と東部の赤い線が北アナトリア断層と東アナトリア断層。米地質調査所公表資料に東北大学災害科学国際研究所（災害研）の遠田晋次教授が一部加筆した（東北大学災害研/遠田晋次教授提供）

出典：Science Portal 2023.02.14 <https://tinyurl.com/21b67bjn>



出典：大阪管区気象台 <https://tinyurl.com/2pxmkiwc>